

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和5年11月19日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4691200457
法人名	医療法人 誠井会
事業所名	グループホーム福寿荘
所在地	鹿児島県霧島市国分広瀬二丁目28番地16-1 (電話) 0995-73-5758
自己評価作成日	令和5年10月26日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NP0さつま
所在地	鹿児島市新屋敷町16番A棟3F302号
訪問調査日	令和5年11月15日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

当事業所は脳外科、皮膚科を有するクリニックを母体とし、1階に小規模多機能ホーム、近隣に通所介護事業所、サービス付き高齢者住宅があり、日常的に情報共有や連携、緊急時の対応における協力体制が確立されています。施設での生活においては、これまでの生活を重視し、季節に応じた行事を取り入れ、その人らしい毎日を笑顔で穏やかに過ごせるような活動提供に努めており、ドライブや散歩以外にも地域行事への参加により、地域の方との関わりをもち、社会参加の機会を増やす事で社会の一員として、本人の居場所や役割を感じられるよう支援しております。当施設1階には小規模多機能ホームを併設しており、ご利用者、職員間との交流もあり、施設内は日当たり良く、心地のいい空間となっております。食事に関しても昼食と夕食は専門の外部業者に委託しており、時節に合わせた料理、郷土料理など、風土や季節を大切にされた温かい料理が提供でき、調理に要する時間もお利用者様のケアに努める事ができます。職員一同、地域に根差した施設理念に基づき入居者様の一人ひとりの個性を大事に大切に考え支援していきます。また、入居者様の重度化においても、多種職連携に努め、助言、指導により心身機能、生活の質の維持を図り、本人らしい生活を支援しております

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

ホームは、国道10号線から少し入った霧島市国分広瀬地区の、閑静な住宅街のビルの2階に平成26年に開設され、階下には小規模多機能ホームが設置され、法人母体の医療機関や同法人のグループホーム、通所介護事業所等に隣接している。これらの事業所は法人本部を中心に情報の共有が図られ全体研修の実施や防災への強力体制、合同訓練の実施等の体制を築いている。協力医療機関とは日頃から密な連携が図られ24時間医療連携の体制も構築しており、利用者や家族の信頼や安心に繋がっている。周辺にはコンビニや薬局、マンション、個人住宅等が立ち並んでいるが、幹線道路から少し入っているため気になる騒音は無く季節を感じながら平穏に暮らせる環境である。

地域密着型事業所として開設以来、自治会に加入して地域との交流を大切に組み組んできている。コロナ禍のため制限の多い状況下でも、利用者は日常的に周辺の散歩時の挨拶や会話、ゴミ出しを継続し、また、家族や友人との面会は感染予防に配慮して窓やパーテーション越しで実施し、地域の清掃活動や夏祭りの準備にも積極的に参加している。地域住民から寄せられる高齢者福祉や認知症対応等の相談には専門性を生かして丁寧な助言に努めている。感染状況に配慮しながら徐々に地域との交流の機会を増やしたい意向である。

管理者及び職員は良好な人間関係を構築しており、日頃の業務の中毎月のカンファレンス等で意見や要望を出し合い、個人的事情にも配慮しながらサービスの向上や働きやすい職場環境の整備に取り組んでいる。防災や防犯に対する意識も高く、既にBCPも作成済みで、防災、感染症対応の訓練(机上)に昨年度から取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	玄関やトイレ、ネームプレート裏等、目のつきやすい場所へ基本理念を掲載し、職員が常に意識した行動が行えるようにしている。	法人の介護事業所共通の理念に「利用者がその人らしく自宅同様に平穏で寛げるケア」を掲げており、玄関やホールなど目につきやすい場所に運営方針と共に掲示し、また、職員のネームプレートの裏面にも記載して周知を図っている。職員は理念を常に意識し、利用者主体のケアに取り組んでおり、日常的にケアの振り返りや意見交換等を行って理念の実践に努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	ペットボトルキャップ、手作り紙袋寄贈等を通して地域との関わりを持ち、社会との繋がりを継続できるよう取り組んでおります。	コロナ禍により制限が多い状況下でも可能な限り地域との交流に努めており、自治会に加入して地域の情報を把握し、家族及び友人の面会や散歩時の挨拶、小規模多機能ホームの利用者との交流、農産物のおすそ分け、ペットボトルのキャップの収集、ニコキッズへの小物のプレゼント、地域の清掃参加や夏祭りの準備の手伝い等に取り組んでいる。また、住民から寄せられる介護保険や高齢者福祉に関する相談への助言など日常的に交流を図っている。	
3		事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	霧島市独自の取り組みである専門研修を受講しており、職員の資質向上に取り組みながら事業所の力を活かした地域貢献を行っている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	二ヶ月毎に開催し、サービスの提供など活動報告を行っている。入居者様の御家族・地域の自治会長・民生委員・地域包括支援センター職員等に参加して頂き、必要な要望や意見・助言等を聴く機会を設けている。	コロナ禍により書面での会議が続いていたが、5月に位置づけされたこともあり本年度から家族代表や自治会長、民生委員、地域包括支援センター等が出席しての会議を再開している。ホームの現況やヒヤリハット、感染症予防等の報告や地域の情報も出されて活発に意見交換しており、職員は内容を協議して改善を図っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議を通じて連携に努めております。	市の担当者には運営推進会議に出席してもらってホームの状況の理解を得ている。市の窓口に出向いたり電話、メール等で介護保険や各種制度、感染症予防対策の相談や協議を介護事業部と共に取り組むなど、日頃から協力関係を築いている。市主催の会議や研修にも積極的に出席してサービスの向上に繋げている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	施設外への研修の参加や定期的な法人研修を行い職員全員へ周知している。また、日々の関わりの中で職員同士が声を掛け合い拘束をしない環境作りに努めている。	身体拘束や虐待をしないケアへの対応は指針を整備し計画的な法人による研修や外部研修の実施で周知を図り、日頃のケアの中でも振り返りや意見交換を行って拘束の無いケアに取り組んでいる。身体拘束適正化を目的とした身体拘束廃止委員会も隔月毎に開催し、具体的な事例を基に意見交換も行って認識を共有している。職員は日頃の関わりの中で利用者の思いを汲み取り、その人らしい自由な暮らしの支援に努めており、スピーチロックや不適切なケアが見られた時は注意し合うなど、日常的に改善を図っている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	定期的な研修を実施し、職員全員に周知徹底している。また、言動やケアの方法等不適切ケアを行っていないか職員同士声を掛け合い防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	資料回覧や施設内研修等を通して職員の理解度を深めている。また、外部より相談があった際は担当者と連携を取り支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居の際に内容と重要事項説明書をしっかり説明し承諾を得たうえで契約を頂いている。介護度の変更等あった際は、料金変更等の再説明を実施し同意を得ている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関へご意見箱とアンケートBOXを設置し、ご家族様、ご利用者様の想いを表せる事ができるようにしている。	利用者の想いは日頃のケアの中での対話や表情、サイン等で汲み取り、また、家族とは来訪時や電話、ライン等でのコミュニケーションに努め、意見箱やアンケートBOXも設置して意見、要望の把握に努めている。出された意見は毎月のカンファレンス等で協議し、運営やサービスの向上を図っている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月の会議に法人幹部等も参加し、職員の思いや取り組み等を報告。提案や意見交換の場を設け反映できるよう努めている。	管理者及び職員は日頃からコミュニケーションに努め、気軽に意見を言い合える関係性を構築しており、日頃の業務の中や、カンファレンス、個人面談等で意見や要望を出し合い、法人本部とも協議しながら改善に取り組んでいる。日常的にケアに関する助言や研修の実施、介護現場を離れての休憩時間の確保、有給休暇の取得、外部研修受講等を促進しており、個人的な事情等にも十分配慮して働きやすい職場環境の整備に努めている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	勤務状況を把握、評価を行い、各スタッフと面談、相談をしながらやりがいある職場になるよう配慮している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>施設内研修や外部研修への参加を促し、各委員会からもテーマに沿った資料回覧や勉強会を行いケアの質の向上につなげている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>外部研修や地域貢献活動などを通して交流を図り、意見交換や情報交換等でサービス向上につなげている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>初回アセスメントの段階からご本人様の好きな事や不安な事などの訴えを傾聴し本人の想いに寄り添えるよう努めている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>見学や申し込みの段階で家族様の困っている事、不安な事等傾聴し、ご意見や要望をお伺いしながら良好な関係作りに努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>必要なサービス提供ができるようご本人、家族、介護支援専門員、主治医等と連携を図り、情報交換、共有を行いながらその時必要としているサービスを見極めている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>行事毎や毎日の活動を通して入居者様とコミュニケーションを行いながら一人一人の生活リズムに合わせた支援に努め、ホッとしていただけると感じる雰囲気作りに努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族様が来所された際はご本人様の様子やご家族様の話を傾聴し、良好な関係作りに努めている。またご家族様宛てに、毎月お便りを送っている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご友人、ご家族様が来所しやすい雰囲気作りを行いながらご本人様との関係が途切れないよう努めている。	利用者毎の生活歴や馴染みに関する情報を把握しており、家族や友人の来訪時には感染予防に配慮しながら玄関や一階での面会を実施し、希望に沿って周辺の散歩や買い物、訪問美容、通院、小規模多機能ホームの利用者とのドライブ、家族同行の外出等に取り組んでいる。毎月発行の「グループホーム福寿荘」でも利用者の近況を写真やコメントで伝え、遠方の家族との電話や手紙等の取り次ぎも行なうなど関係の継続に努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	全職員が一人一人の性格や生活リズム、心身の状態に合わせた配慮を行いながら時節の行事、レクリエーション活動を通して入居者様同士が関り合っている		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービスが終了しても必要に応じて連絡を取り、本人、ご家族様の相談に応じながら必要なサービス情報の提供に努めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご本人、ご家族様との会話で得られた情報や日々の関りの中でご本人様が思っている事に耳を傾け、職員間で情報共有を行いながら本人本位の支援に努めている。	利用者の思いの把握は日頃の関わりの中での会話や仕草で、また、コミュニケーションが難しい利用者からは表情や独自のサイン等で思いを汲み取り、カンファレンス等で協議して、利用者主体の安全で生きがいのある暮らしとなるよう家族の意向も確認しながら取り組んでいる。利用者が希望する趣味や作品の取り組みも体調や残存能力に配慮しながら個別の支援にも取り組んで、達成感や自己肯定感の修得を支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人、ご家族から得られた情報で馴染みの人や場所、大切にしている事や物の把握に努めている。また、ご家族や親族が来所された際思い出話しなど積極的にお聞きしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人一人の1日の様子や心身の状況などは経過記録等で職員全員が把握しやすいよう記録を行っている。また、日常生活の中で得られる「できること」に目を向け支援も行っております		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人、ご家族様からの意見や要望、日々の関りの中で得られた情報を多職種間で話し合いニーズを汲み取り定期的なケアプランの評価、見直しを行い現状に即したプランを作成している。	利用者主体の平穏な日々が過ごせるように、本人及び家族の意向や主治医の指示、モニタリングやカンファレンス時の職員意見を基に、その人の生活リズムや生きがい、楽しみ事にも配慮したライフサポートプランを作成している。ケアの実施状況は「バイタルチェック表」や「業務日誌」等で共有し、利用者の心身の変動時には実状に即したプランに変更し、家族にも説明して理解を得ている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子や心身の様子、ケアの方法など1日の過ごし方は個別での記録を行い情報共有を行っており、問題点や課題などミーティングの際に話し合いを行う事でケアプランに反映させている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人、家族を取り巻く環境を見ながら多様化する形態にも対応できるよう努めている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	運営推進会議の際、自治会長より情報や助言等を頂いている。また散歩や近隣の観光地、住み慣れた場所へのドライブを実施することで地域資源を活用し楽しんで頂けるよう支援している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	毎月主治医の診察を受けており、必要な方へは訪問診療での対応を行い状態変化があった際は、その都度主治医、ご家族様への連絡をとり適切な支援を行えるよう取り組んでいる。	本人・家族が希望する医療機関での診療を支援しているが、現在殆どの利用者が協力医療機関を主治医としている。定期的な通院や病状によっては訪問診療（看護師同行）が実施され、他科受診も家族と連携しながら実施している。日頃から衛生や健康管理を徹底し協力医療機関には毎朝利用者の健康状態を報告しており24時間医療連携も構築されて、利用者及び家族の安心や信頼に繋がっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	入居者様の心身の状態や職員の気づいた点、気になった点等は直ぐに看護職員に報告相談しながら情報共有を行い適切な受診や看護ができるよう対応している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入居者様が入院された際は電話や訪問をして医療機関との情報共有に努めている。入院中も定期的に連絡を取りあり現状や状況変化の把握ができるよう努めている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	契約時に指針の説明を行い同意を頂いている。また入居者様の状態の変化に応じて主治医よりご家族へ現状と今後について説明を行い改めて本人、ご家族様の意向を確認し事業所で出来ることをお伝えしている。	重度化や終末期の対応については指針を整備しており、利用開始時に本人及び家族に説明して同意を得ている。病状に応じて家族及び関係者は十分に話し合いながら可能な限り意向に沿ったチーム体制での支援に取り組むこととしているが最終段階で医療機関への入院希望となる場合が多い。重度化や緊急時対応の研修も実施して、職員のスキルアップや不安感の軽減を図っている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時や、事故発生時の連絡体制と初期対応について目のつきやすい場所へ掲載し全職員が同じレベルの対応ができるよう努めている。担当委員会が中心となり緊急時対応についての研修も行い知識と実施力向上を図っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>防災委員会が中心となり様々な災害を想定した避難訓練を実施している。目のつきやすい場所へ緊急時の対応方法を掲載し職員一人一人が落ち着いた行動、迅速な対応が行えるよう取り組んでいる。</p>	<p>年2回夜間想定を含む法人全体での合同訓練を消防署の協力も得ながら実施し、災害時の注意や防火設備の取扱い等の研修も実施している。日頃から連絡網や避難経路の確認に努め、マスクの災害情報をもとに意見交換も行うなど、防災への認識の共有に努めている。災害発生時の地域の協力体制も築いており飲料水や食料品、介護用品等をホームおよび法人本部共に備蓄している。BCPも既に作成済みで昨年度から災害、感染対応の机上訓練を各2回ずつ実施している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	基本理念を基に入居者様一人一人の人格を尊重した支援を実施している。プライバシーに配慮しながら、その人らしい生活を送っていただける関り方に努めている。	尊厳やプライバシー確保は重要事項等に明記され、ホームはプライバシーに配慮した構造になっている。計画的な研修の実施や日常的にケアの振り返り、意見交換等を行って認識を共有し適切なケアの実践に努めている。排泄や入浴の支援は人格や羞恥心、習慣等に配慮し、日頃から利用者の残存機能や自己決定を尊重したケアに取り組んでいる。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常生活の中で何気ない会話や活動を通してコミュニケーションを図りながら入居者様と同じ時間を過ごし、本人が思いや希望を表出しやすい雰囲気作りに努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者様一人一人の生活リズム、体調や気分に合わせて本人様のペースで生活を送って頂けるよう個別性のある支援を行に努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	朝、起床時の洗面、更衣の支援を行いながらお化粧や好みの洋服を着用して頂けるよう配慮している。また、定期的に馴染みの美容師に訪問して頂き散髪もお願いしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	季節の物や行事食、入居者様の好みのおやつ作りを行いながら毎日の食事を楽しんで頂けるよう努めている。また、配膳や下膳、食器洗い等入居者様の「できること」を大切にしながら支援している。	食事は昼・夕食は外注が基本であるが、利用者の何よりの楽しみで関心も高いことから代替品や季節感、行事食等は業者に要望して対応出来ている。法人の幹部職員や管理栄養士、各事業所の管理者、委託業者による給食委員会を毎月開催して適切な給食に取り組んでおり、利用者のおやつ作りや行事食、郷土料理等、食事が楽しみなものとなるよう努めている。食事の摂取量は利用者毎に把握し口腔ケアもプランに沿って支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	主治医からの助言や指示の下、水分摂取等の管理を行っている。疾患や体重に合わせた栄養バランスの考えられた食事を提供しており。個々の嚥下状態に応じた形態を栄養士の助言の下で提供している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の歯磨き、義歯洗浄を行い、入居者様の状態に応じて口腔内の清潔保持に努め就寝前には義歯の消毒を行っている。必要時には歯科医の往診も行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	入居者様それぞれのADLを把握し排泄リズムに合わせたトイレへの声掛けや誘導を行いながら排泄の失敗の軽減に努めています。また、下着に関しても職員間で話し合い適切な物を使用できるように取り組んでいる。	利用者毎の特性や排泄パターンを把握し可能な限りトイレでの排泄を支援しており自尊心や習慣、羞恥心等には十分配慮している。利用者の身体状況に応じた下着や介護用品、ケアの方法をプランに反映させて改善に取り組んでおり介護用品の軽減等の改善が見られている。便秘の予防に飲食物や運動等に留意し主治医の指導も受けながら対処している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	個々に合わせた排泄リズムをアセスメントし、トイレへ案内している。できる限り薬に頼らず、運動や飲食物で自然な排泄ができるよう予防に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	週2～3回の入浴を行い、入居者様の状態に応じて実施している。体調や本人様の気分に合わせて時間等の調整も行いゆっくり入浴を楽しんで頂けるよう努めている。	週2～3回の入浴を基本とし、利用者の心身の状態に配慮しながら個浴で支援している。入浴日や時間、温度、同性介助等は意向に沿って柔軟に対応し、ゆっくりと気持ち良く楽しめるように取り組んでいる。入浴後は水分の補給や皮膚疾患の手当等を支援している。入浴をためらう利用者には声掛けや介助者、時間の変更等の工夫で、利用者の意欲を待つように努めている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	本人様の生活リズムや体調に合わせて休息できるよう居室や共同スペースの環境整備に努めている。空調、寝具の調整を行い入居者様が安眠していただけるよう取り組んでいる。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	病院受診した際は薬の説明書を個人ファイルやお薬手帳に貼り、閲覧できるようにしている。また、変更や追加があった際は、その都度申し送り、状態変化や気づきがあった際もその都度報告相談している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	入居者様それぞれに応じて日常生活の中で洗濯物や洗い物、レクリエーション活動など「できる事」に目を向け支援している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	ご本人様やご家族様の希望要望をお聞きし、馴染みの場所やお花見など季節に合わせた観光名所へ外出できるよう努めている。	利用者及び家族の外出への意向を把握し、健康状態や天候等に配慮しながら日常的に周辺の散歩や園庭の草花を愛でており、また家族との通院や外出、小規模多機能ホームの利用者とのドライブ等に取り組んでいるが、感染予防のため墓参や一時帰宅等は自粛している。重度化に伴い全員での外出は難しいが意向に沿って少人数での対応やホーム内でのレクリエーションの工夫でリフレッシュを図っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>ご自身で所持している方はおりません。（必要時には施設での管理支援などの対応を行っている。）</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>入居者様、ご家族様からの要望があれば電話をかけた取り次を行っております。手紙が来た際も本人様にお渡ししており、本人様の希望があれば対応している。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>日光を取り入れ季節の壁画や置物、音楽を流しながら快適に過ごしていただけるよう取り組んでいる。照明や空調も適切に管理し、定期的な換気も行い、空気の流れを意識しながら感染対策にも取り組んでいる。</p>	<p>ホーム全体がバリアフリーに配慮した構造で廊下やホール等は余裕のある広さが確保されている。整理整頓や採光、換気、室温、感染予防等に細かに気遣っており、随所に利用者の作品や季節感のある壁画が飾られて、音楽も流すなど和やかで清潔感のある空間となっている。対面キッチンからは配膳の音や臭いが伝わり、ソファやテーブル等の家具が利便性や利用者の人間関係等を考慮して配置されて、利用者は好みの場所で四季を感じながら平穏に過ごしている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>入居者様それぞれが過ごしたい場所で過ごせるようテーブル席とソファ席を準備しております。気の合う入居者様同士が近くなれるよう席配置を工夫し職員も気配りしながら声掛け等行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>ラジオや写真、頂きものなどを飾り、入居者様が安心して過ごして頂けるよう努めている。危険要因になりそうな物についてもご家族様と話し合いながら設置し、居心地の良い空間作りに努めている。</p>	<p>フローリングに腰高窓の居室は、余裕ある広さで明るく、エアコン、ベッド、洋服ダンスが利用者の状況に応じて配置しており、利用者の意向を確認しながら清掃や整理整頓等を支援している。利用者は愛用していた寝具、家族写真、ぬいぐるみ等を持ち込み自身の作品も飾って、その人らしい居心地良く過ごせる環境になっており、入口には戸惑うことの無いよう氏名の表示を工夫している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>入居者様一人一人にあわせた声掛けや介助を行い、ご本人様が混乱や失敗する事が少なくなるような支援を行っている。また、危険要因になりそうな物は話し合い、居室やトイレなどには、わかりやすく張り紙を行うなど様々な工夫をしている。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない